

### 3 優秀経営農林水産業者

部門	氏名・住所	受賞理由
林産	株式会社 <small>いつきりんぎょう</small> 樹林業 代表取締役 <small>みはし やすひろ</small> 三橋 康宏  鳥取市	①平成26年4月、鳥取県東部を対象エリアに、間伐中心の素材生産会社として設立。平成26年9月、作業員2名で間伐事業を開始し、平成30年からは西部班も編成し、作業員15名で年間27,000m <sup>3</sup> の素材生産を行っている。 ②安全性、仕上り、生産性が高いレベルの作業方法で実行し、創業以来ゼロ災害を継続中。 ③森林所有者より経営委託を受け、森林経営計画の作成に取り組み、現在では森林施業プランナー4名、森林経営計画認定件数17件。さらに森林整備センター事業や、皆伐再造林も手掛け、積極的に事業を展開している。
園芸	<small>おおの しゅんいち</small> 大野 俊一  倉吉市	①昭和54年に高校卒業後、ハウス二十世紀梨を中心に、地域の特性と立地を生かした栽培に取り組み、62aの梨を栽培。 ②少しでも梨産地を維持、増やして行くため、梨作りを他の生産者にも丁寧に指導し梨栽培の魅力を広げる努力をしている。 ③現在は、JA鳥取中央倉吉梨生産部の副部長として収益性の高い栽培体系の確立（新甘泉の導入等）を意欲的に取り組んでいる。
水産	<small>しょうほうすいさん</small> 祥鳳水産株式会社 代表取締役 <small>はまだ まさき</small> 濱田 優樹  岩美町	2 農林水産大臣賞に記載
畜産	<small>たかま まさひろ</small> 高間 理拓  倉吉市	①倉吉農業高校卒業後、県外の短期大学で酪農について学び、家業の後継者として就農し、父親の代の36頭飼養から現在の56頭飼養に増頭。良質生乳生産に大きく貢献。 ②自給飼料生産にも力を入れ、土壌改良等により安心・安全で良質な自給飼料生産をし、飼料コストの削減にも積極的に取り組んでいる。 ③地域の酪農組合の副組合長及び、大山乳業協同組合理事職（監事職）も兼任し、次世代のリーダーとして期待されている。

部門	氏名・住所	受賞理由
園芸 ・ 農産	たにがみ せいじゅ 谷上 正樹 たにがみ ゆきえ 谷上 由紀恵  鳥取市	①鳥取市佐治町で長年、特産の梨栽培に取り組み、長年の経験による高い栽培技術と新甘泉、王秋など新品種等の導入による安定した経営を続けている。 ②梨を原料としたシフォンケーキやジャムなどの加工販売の他、スマート農業を活用した栽培技術の導入、インターネットを活用した安定した販路確保等、新しい技術を取り入れた営農にも積極的に取り組んでいる。
園芸	ほしもと けいいち 橋本 圭一 ほしもと ちえみ 橋本 ちえみ  北栄町	①早くから施設園芸の重要性を認識し、平成30年度には鳥取型低コストハウスを導入するなど、施設化をすすめ、さらに、令和3年度にはハウス自動換気装置を導入するなど、スマート農業にも積極的に取り組んでいる。 ②夫婦で協力し合いながら、複式簿記を導入し経営分析・改善を行うことで、農業所得の安定に努め、平成30年からは次男が就農し、3人で営農。 ③大栄西瓜組合協議会指導副部長を平成18年から平成20年まで務めたほか、平成28年から令和3年まで中玉トマト役員を務めており、産地の発展・振興に貢献するため、部会発展に尽力し、研究心と攻めの姿勢は他の模範となっている。
園芸 ・ 農産	はまもと なおひろ 濱本 直廣 はまもと やえこ 濱本 八重子  鳥取市	①夫婦で長年、福部町海士集落にてらっきょうと梨栽培に取り組み、令和元年以降は息子と共に営農し、経営継承のための研修に取り組んでいる。 ②平成15年から令和2年までの18年間、海士らっきょう生産組合長として産地維持のために尽力。